

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【公開番号】特開2010-138205(P2010-138205A)

【公開日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2010-58365(P2010-58365)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/235 (2006.01)

A 6 1 K 39/145 (2006.01)

A 6 1 K 39/155 (2006.01)

A 6 1 K 39/125 (2006.01)

A 6 1 K 39/245 (2006.01)

A 6 1 K 39/275 (2006.01)

A 6 1 K 39/15 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 39/13 (2006.01)

A 6 1 K 39/29 (2006.01)

A 6 1 K 39/20 (2006.01)

A 6 1 K 39/25 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

C 1 2 N 7/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/077 (2010.01)

C 1 2 N 7/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/12

C 1 2 P 21/02 A

A 6 1 K 39/235

A 6 1 K 39/145

A 6 1 K 39/155

A 6 1 K 39/125

A 6 1 K 39/245

A 6 1 K 39/275

A 6 1 K 39/15

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 39/13

A 6 1 K 39/29

A 6 1 K 39/20

A 6 1 K 39/25

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 31/20

A 6 1 P 31/22
C 1 2 N 7/02
C 1 2 N 5/00 2 0 2 G
C 1 2 N 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月15日(2011.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワクチンの大規模生成のための方法であって、該方法は、

(a) 無血清培地、無タンパク質培地、または化学的に規定された培地中で、M D C K 懸濁培養物を増殖させる工程であって、ここで

(i) 該増殖は、供給バッチ系で行われ；

(i i) 培養容積は、新鮮な培地の添加により増加され；そして

(i i i) 1 0 0 ~ 1 0 0 0 0 L の生成容量が達成される、工程；

(b) 該 M D C K 懸濁培養物をウイルスに感染させる工程；

(c) 該ウイルスを、該 M D C K 懸濁培養物中で増殖させる工程；および

(d) 該ウイルスまたは該ウイルスにより生成されるタンパク質を、該細胞培養物から単離する工程

を包含する方法。

【請求項 2】

前記ウイルスは、 - プロピオラクトンの使用により不活性化されることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記細胞の前記増殖は、感染前に化学的に規定された培地中で、そして感染後に無タンパク質培地中で行われる、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 M D C K 細胞株は、細胞株 M D C K 3 3 0 1 6 に由来する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記ウイルスは、s s D N A ウイルス、d s D N A ウイルス、R N A (+) ウイルス、R N A (-) ウイルスまたは d s R N A ウイルスであることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記ウイルスは、アデノウイルス、オルトミクソウイルスもしくはパラミクソウイルス、レオウイルス、ピコルナウイルス、エンテロウイルス、フラビウイルス、アレナウイルス、ヘルペスウイルス、またはポックスウイルスから選択されることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記ウイルスは、アデノウイルス、ポリオウイルス、A 型肝炎ウイルス、日本脳炎ウイルス、ヨーロッパダニ媒介性脳炎ウイルス、および関連する東洋形態、デング熱ウイルス、黄熱病ウイルス、C 型肝炎ウイルス、風疹ウイルス、流行性耳下腺炎ウイルス、麻疹ウイルス、R S ウイルス、ワクシニアウイルス、インフルエンザウイルス、ロタウイルス、ラウドウイルス、肺炎ウイルス、レオウイルス、1 型単純ヘルペスウイルスまたは 2 型単純ヘルペスウイルス 2、サイトメガロウイルス、水痘帯状疱疹ウイルス、イヌアデノウイ

ルス、エプスタイン - バーウイルス、ウシヘルペスウイルスまたはブタヘルペスウイルス、または仮性狂犬病ウイルスである、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ワクチンは、アジュバント、補助剤、緩衝剤、希釈剤または薬物キャリアと混合される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

(d) 前記ウイルスを C S クロマトグラフィーカラムおよび / またはスクロース勾配超遠心分離により精製する工程をさらに包含する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。